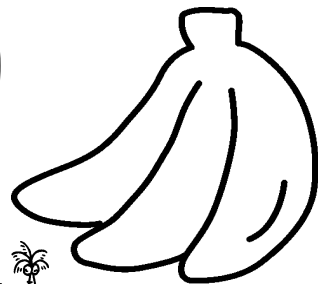


ばななだより

草笛学園

2023年12月



12月に入りました！！

月日がたつのは早く、今年も残りあとわずか。ほおを刺すような北風が身にしみるようになりまして。12月は何かと忙しく、駆け足で通り過ぎていきます。心の余裕を忘れず、子どもたちのきらきらとした表情を見逃さないようにしていきたいですね。

そしてもうすぐ子どもたちのお待ちかねのクリスマスがやってきます。子どもたちの小さな願いがクリスマスには笑顔に変わりますように☆



◎自分で決めるチャンスを奪わない

大人のいいなりにもなってしまうような年齢の低いあいだから、子どもには自分で決めることのできるチャンスを多く作ってやりましょう。大人の望んでいる通りに子どもが決めるとは限りません。しかし、子どもは失敗から学んでいきます。自分で選ぶチャンスは、失敗から学ぶ機会を作ることになります。小さいときの失敗は、いくらでもやり直しができます。大人が好ましいと思わないおもちゃを子どもが選んだとしても、一度遊んでみて「つまらなかった」ことがわかればそれでいいのです。いつも、最後は自分に決めさせてくれると感じる大人への信頼感が、大きくなってから生きてきます。

◎子どもが決めたことを尊重する

子どもがせっかく自分で選んでも、その結果が尊重されないのでは、チャンスをもらっても水の泡になってしまいます。それがどんな結論であっても、子どもの選択を尊重しなくては信頼関係は作れません。さらに、自分で決めても、させてもらえないことが続くと、自分で選ぶこともしなくなります。おもちゃのかたづけをしなさいと言っても、「テレビ見てからする」と言ってなかなかかたづけられない。よくあることです。その時に「あんたは言うだけで、いつもかたづけるのはお母さんや」と怒っても仕方ありません。結果的にお母さんがかたづけてしまうと、子どもは「お母さんもうるさく言うだけや」と思ってしまいます。自分でかたづけ始めるまで待つ余裕が必要です。うるさく言わなくても、お母さんは待ってくれるということを実感したら子どもはその信頼に応えます。

◎大人の考えをことばでいていねいに伝える

これも、子育ての中で「くせ」にしておきたいことです。「子どもは親の背中を見て育つ」では子どもは育たないと書きましたが、必要なのは、しっかり正面から抱きとめることと、ことばで考えを伝えることです。わかっているのかと思うような小さい時期から、子どもががんばったらことばでほめたり、いけないことをしたら「なぜいけないのか」をことばで説明することが必要です。そして、もっと必要なのは、からだで示すとともに、ことばでも、「あなたが、かけがえのない私の大切な人である」ことを伝えてほしいのです。話すことが苦手なお父さんも、大きくなってからではもっと照れくさくて言えません。小さいときから練習しておきましょう。いけないことをしたときは、うんと努力して言葉で伝えます。一発叩いて「わかったか」ということがないようにしたいものです。大人がことばを節約すると、子どもも同じように「うるさい！」の一言でかたづけてしまいます。参考文献「ちょっと気になる子どもと子育て」池添素著

◎1月のばなな教室のお知らせ◎

ばなな①：ばなな①はありません

ばなな②：1月18日（木）13：00～

活動・・・クッキング（お好み焼き）

持ちもの・・・エプロン、三角巾、シューズ、マスク

『参加される皆様へ』 ～ご協力をお願いします～

- ・お休みをされる場合は、学園までご連絡ください
- ・参加日は無料です。製作やクッキングの活動の時には、材料費として100円頂きます。その都度連絡いたします。
- ・活動は主に、草笛学園遊戯室での活動となります
- ・水分補給のため、お茶を用意して下さい（ジュース類は控えてください）
- ・きょうだい児の参加はご遠慮ください。預け先がない場合は事前にご相談ください
- ・トラブルによるケガ防止のため、参加前に爪を必ず切ってきてください
- 【感染症対策について】（※国の方針に準じて対策を見直しています）
- ・参加者・職員共にマスクの着用は自由とします。但し、クッキングの際やその時々での感染状況を見て着用をお願いする場合があります。
- ・原則大人1名・子ども1名の参加をお願いしてきましたが、今後はその限りとはしません。但し、グループによっては参加者が多い場合がありますので、担当職員にご相談下さい。
- ・入室前の検温・申告は不要ですが、朝の検温等、引き続き体調管理をお願いします。37.5度以上の発熱がある時は参加をお控えください。
- ・園内の換気や消毒は引き続き続きます。